

# 金岡新聞

2月号

## 日本ロマン飛行 ③〇

### 杉の大杉へ八坂神社へ高知

日本一の杉として名高い「杉の大杉」は、最古の昔に須佐之男命(すさのおのみこと)が植えられたと伝えられる推定樹齢三千年の巨木。この「杉の大杉」は、それぞれ南大杉、北大杉と呼ばれる2株の大杉からなっており、2株が根元で合着していることから、別名、夫婦杉とも呼ばれている。南大杉は根元の周囲が約20メートル、樹高が約60メートルで、北大杉は根元の周囲が約16.5メートル、樹高が約57メートルあり、昭和27年に国の特別天然記念物に指定された。

深閑とした八坂神社の境内にどっしりと根をおろした大杉の下にたたずみ、そつと耳をすませば、太古からのほらかなる歴史の鼓動が聞こえてくるようだ。



日本一の杉は大人2000円で見ることができ、この料金は巨大な日本一の杉の維持のために使われている。

### 2月生まれの有名人名人

- 2/1 布袋寅泰 54歳
- 2/3 有田哲平 45歳
- 2/8 佐々木希 28歳
- 2/10 川口春奈 21歳
- 2/13 森本レオ 72歳
- 2/13 有村加純 23歳
- 2/15 浅田美代子 60歳
- 2/17 奥居香 49歳
- 2/21 要潤 35歳
- 2/23 宇崎竜童 70歳
- 2/26 三浦知良 49歳
- 2/29 飯島直子 48歳

大杉を後にして少し道を上がると大杉の苑という美空ひばりさんの遺影碑と歌碑が立てられている。美空ひばりさんも参拝して日本一の歌手になれるようお願い、誓ったそう。



JR大杉駅舎

最寄りのJR大杉駅舎『とまレール大杉』は、日本一の杉をイメージし、木材の搬出、部材への柿渋の塗布、カウターやベンチ、看板の作成などを地元大杉中学の生徒たちも行い、材料提供や加工などは地元が協力し、木を活かした地域のシンボリックな駅施設になっている。

### 山佐産業(株) 瀬戸内プレカット 金岡事業所

岡山市東区金岡東町3-5-70

TEL 086-948-2053

FAX 086-948-0108

### 春を告げる香り『ウメ』

野生系の梅は品種により、二月下旬に開花し紅色の花をつける「寒紅梅(カンコウバイ)」や、一株で白と紅の花を咲き分ける「思いのまま」や冬至の頃に開花すること知られる「八重冬至(ヤエトウジ)」や花弁が小さく淡黄色から「黄梅(オウバイ)」と呼ばれるものや、大輪の花を咲かせる「道知辺(ミチシルベ)」などがある。その他にも、「座論(ザロン)」はひとつの花から多くの果実をつける。小低木で小枝は緑色。葉は卵形で、葉先は鋭い。梅は百花に先駆けて咲き、桜などに比べ休眠が浅いために、開花時期が天候によって大きく左右される。高温、適湿、多照の年は開花時期が早まり、乾燥の激しい年や気温の低い年はやや遅くなる。また、品種によって多少差がある。

### 津山市神代梅の里公園

梅の里公園は、約四万坪の園内に品種としては「紅梅」「鶯宿」「甲州小梅」「玉英」「南高」「白加賀」「鹿児島紅梅」など十四品種二千本のウメを見ることが出来る広大な公園。開花時期には、山頂に続く遊歩道は紅梅が空を埋め尽くすように咲き乱れ、幻想的な雰囲気に包まれる。ウメの開花時期に合わせ『梅の里梅まつり』も開催され、梅の種飛ばし大会、各種演芸、バンド演奏、もち投げなど様々なイベントを楽しむこともできる。その景色は溜息がでるほど美しいとされる横野溪谷などへも観梅の帰りに足を伸ばすのもいい。



栗林公園のウメを見てきました。メジロとウメの香りが印象的でした。

先日イソヒヨドリに襲われたメジロを保護しました。急遽、仮住まいのケージを用意し、事務所で一日休息してもらいました。翌日夕方、メジロのシローは、金岡の空に、元気に巣立っていくことができました。きっと今も、元気に飛び回っていることでしょう。

